

東風見聞録

平成23年3月発行 通巻41号

イーストウインド・プロダクション 田中正人・竹内靖恵

群馬県利根郡みなかみ町鹿野沢637-M302

電話・FAX 0278-72-9292

3月11日の東日本大震災で犠牲となった方々のご冥福をお祈り申し上げますと共に被災者の方々に心からお見舞いを申し上げます。そして今なお福島原発に対応されている皆様、救助活動をされている皆様、避難されている全ての皆様の安全を心よりお祈り申し上げます。

みなかみレスキュー&サポートチーム

今 僕らにできることは何か・・・「みなかみレスキュー&サポート」

このたびの東日本大震災を受け、群馬県みなかみ町に住むアウトドア仲間たちを中心にして「僕らに何かできることはないか」と話し合い、「みなかみレスキュー&サポートチーム」を立ち上げました。

<主な活動内容>

- 支援物資の募集
- 被災地、被災者へ必要物資を運搬
- 被災地での復興活動支援

<今までの主な活動報告>

- 3月17日(木)～18日(金): 物資運搬
輸送先 宮城県南三陸町 志津川中学校
宮城県気仙沼市 小泉中学校
- 3月22日(火)～24日(木): 物資運搬、ヘドロ撤去作業
活動場所: 宮城県石巻市
- 3月23日(水)～26日(土): 物資運搬、他団体との連携調査
活動場所: 宮城県登米市

※4月1日現在、第13隊目が出動しています。



チームミーティングでは先に被災地に行ったチームから何がどこで必要か聞き、次の届ける場所と物資を話し合う。



ヘドロ撤去作業をするチームメンバー。



被災地に水を届ける。今も物資が届かない人がたくさんいる。

みなかみレスキュー&サポートチーム <http://blog.livedoor.jp/minakamiteam/>

～被災地にて～ 田中正人

みなかみレスキュー&サポートチームとして二度、被災地に行ってきました。一度目は震災から1週間程後の3月17日で、まだ東北自動車道も閉鎖されていました。災害支援車両証明書を提示して東北道を通り、仙台市内に入りました。仙台市ではわずかに開店しているコンビニなどに長蛇の列。閉まっているガソリンスタンドにも長蛇の列。現地の人に聞くと「たまに開くときがあって、それを待っている。この間は7時間待ってやっと給油できた。翌日まで待つ人もいる」とのことでした。

当初の災害対策拠点には物資は集まっているものの受け入れ体制が整っておらず、たらい回しになった後、南三陸町の志津川中学校と気仙沼の小泉中学校に物資を下ろすことに。すでに夜になっていたのですが「よくぞ来てくれた」と避難者の人たちが大勢で出迎えてくれました。気仙沼は湧き水があるのですが、水のない南三陸町では水(約500リットルタンク4個)は、「5日間はもつぞ」と喜んでくれました。

被災された方々は想像とは異なり、明るく元気に力強く生きていました。わざとそうしているのかもしれないけど、ともかくこちらが元気をもらえるほど明るくたくましいのです。避難所の秩序を作り、役割分担をし、周辺の避難所の状況を把握し、お互いの援助などをしていたのです。被災地の末端である避難所の人々はすでに有機的に動き始めていて、震災後わずか1週間というのに再生へと自ら動き始めているのです。

この凄まじい現実から目をそらさず、むしろ直視しようとしているように見えました。みな自分たちで力強く生きているという印象でした。だから僕たちみたいな外からの支援者は、そんな彼らが自由に動き出せるようにお手伝いすることなんだと思いました。

今後もこのみなかみレスキュー&サポートチームで支援活動を続けていきたいと思っています。

パタゴニア・エクスペディションレース2011

Team EAST WIND 第5位

過去大会史上最難と言われたパタゴニアエクスペディションレース2011は、14チーム中6チームのみが完走という結果で幕を閉じました。イーストウインドは7日間00時間58分、第5位で完走しました。

当初の目標である5位で完走できたことは本当に嬉しい限りです。自然環境とコース設定は非常に厳しいものでしたが、チーム全員が固く結束してレースを行うことが出来ました。

多くの皆様の応援が精神的な支えになりました。本当にありがとうございます。

今回のレースでは、多くの学びがありました。日本人にはない感覚が必要なことも分かりました。今後のレースでは、今までの日本チームにはない次元のレース展開を目指していきます。

今後とも応援のほどよろしくお願い致します。

田中正人



今年もレースコースの一部がカットされるなど色々ありましたが、皆様のご支援に支えられ何とか当初の目標の5位以内での完走を果たすことが出来ました。本当にありがとうございました。

倉田文裕

メンバー全員大きな笑顔でゴールテープを切った瞬間は厳しいレースを走りぬいた最高のご褒美でした。

初日に怪我をしてしまい、レース後半チームのペースに大きく影響してしまったことが悔やまれます。

しかし信頼できる素晴らしいメンバーに恵まれて最後まで諦めず目標の5位でゴールできて本当にうれしいです。

一番辛いとき、応援してくださっている皆様のことを思い出し力にさせて頂きました。心から感謝したいです。

今回の経験を糧に次はもっと良いレースが出来るよう一生懸命頑張ります。今後とも応援よろしくお願い致します。

和木香織利



今回のレースは僕にとって、かなり感慨深いものになりました。レース中はチームに対する自身の言動が大きく変動し、今さらかもしれませんが更なる自己変革が必要だと痛感させられました。また、悪天候や参加チーム状況により急なコース変更にも見舞われましたが、目標の5位完走を達成することが出来ました。レース前から多くの方々から暖かい応援を頂き、レース中チームの背中を強くプッシュしてくれたと思います。帰国後も今回の経験を活かせるように活動していきますので、今後とも応援よろしくお願い致します。

田中陽希

【ワンダー×ワンダー 放送延期のお知らせ】

5月21日(土)に予定されていたワンダー×ワンダー(NHK総合)の放送ですが、地震に伴う番組編成の大幅変更のため、放送日が延期になりました。放送日は未定ですが、決まりましたらご連絡いたします。

なお、4月16日(土)のハイビジョン特集は予定通り放送いたします。

イーストウインド祝賀会

3/28(月)テイケイ株式会社のご厚意にてチームイーストウインドの祝賀会を開催していただきました。このような時期での開催はどうなのかという話も出ましたが、東北を助けるひとつの手段として経済復興があり、経済復興のためには私たち一人ひとりががんばらなくてはという事と、アドベンチャーレースはチーム一丸となって困難を乗り越えていく競技でもあり、まさに今私たちが必要とされている「みんなで困難に立ち向かおう」という気持ちを込めて開催しました。

90名余の皆様にお越し頂き、またこのような盛大な祝賀会にて温かいお言葉を頂き、チームは一層精進していく決意とともに、これからの日本を元気にするひとつの役割としての責任も感じました。

ご出席された方より「祝賀会はとても元気の出る内容でした。アドベンチャーレースはやはり人に力を与えるものです」「元気が出ました。ありがとう」という声を頂きました。

ご出席頂きました皆様、実行委員長の長谷川昌美様とテイケイ(株)の濱口様、そしてこの会を開催して下さったテイケイ(株)の高花豊元会長に心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

